

教会創立104周年

週 報

2026年8月9日 5406週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。

なんとという恵み、なんとという喜び。」

(詩編133編1節)

巻頭言

牧師 加藤英治

召天者記念礼拝にあたって

キリスト教会では、「死」「終末・来世」「神の国」ということについて、実は様々な考え方があります。ある方が、自分の父親で牧師であつた加藤邦雄という方のことについて記しておられます。「私は牧師の家庭に育ち、大学に入つたころには教会の週報の印刷を任されていました。ある時、教会員の方が亡くなられて、その報告を書くことになり、天に昇るという字を使い『なににさんが昇天した』と書いたのです。するとできあがつた週報を見て、父は作りなおしを命じました。『潔(邦夫牧師の息子、この文章の語り手)は聖書を読み、また僕の説教をいつも聞いているはずなのに、昇天とはなんだ。永眠と書きなさい』と言うのです。——父は言いました。『人間は死んだ後には永遠の眠りにつく。そして終末の日、新しい天と新しい地の出現するとき、人はすべてキリストの前に目覚めるのだ。これが聖書の教えだ。死んで、次の瞬間に天に昇り、天国でうたたねするようなことは聖書のどこにも書かれていない。』『召天者記念礼拝(一字違いますが)なのに、「いきなりそんなこと」と思われるかもしれませんが、この加藤牧師の言葉にも一理あります。

では、加藤牧師ご自身は、生涯の最後に当たつて、どのように信じ、どのように召されて行かれたのでしょうか。「父は、六九歳にして自分の死の時が近いことを悟り——『教会への切なる希望』と題して、短い言葉を書きのこしました。——『信

仰を与えられ、回心したキリスト者によれば、もつとも確実なのは、神とその愛であつて、それはイエス・キリストに啓示されている。——魂は——神のふところ

か、神のみ手の中に収められる。』——彼は、死の直前になつて、たつたひとこと、

おそらくぎりぎりの祈りとして、もつとも確実なのは神の愛であると語り、自分の魂は神の愛の中に収められると告白して、それ以上のことはなにも語らずに永遠の眠りについたのです。』(加藤潔「イエスを探す旅」より)

「もつとも確実なものは、神とその愛。私たちの魂は、神のふところ、神の愛の中に収められる。』これは今日、私たちのすべてにとつても、確実な慰めと希望を指し示してくれる言葉ではないでしょうか。私たちが今日共に想い起こしている召天者の方々もまた、今神のふところ、神の愛の中で「眠つて」おられ、やがて神の国の到来の日、神の前に復活させられ、私たちとも再び会うのです。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

召天者会員・会友
記念礼拝

司会 大森秀夫執事
奏楽 田中基子姉

前 奏
招 詞 イザヤ 25 : 7 ~ 8
頌 栄 670 (主のみ名をほめまつれ)
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 44 (新しい天と地)
讃 美 519 (信仰こそ旅路を)
聖 書 ルカ 7 : 11 ~ 17
(新共同訳旧 115p 口語訳旧 96p)

祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 讃美歌 21 - 385 (花彩る春を)
聖歌隊

召天者会員・会友ご家族紹介 加藤英治牧師
召天者記念祈禱 加藤英治牧師
宣 教 「『泣かないでいなさい』」
加藤英治牧師

祈 禱
讃 美 336
(世の終わりのラッパ鳴り渡るとき)
献 金 祈り : 大里紀代子姉
(女性会 A 班)
頌 栄 672 (ものみなたたえよ (B))
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「実に、キリストはわたしたちの
平和であります。」
(エフェソ 2 章 14 節 a)

本日の集会 教会学校

幼小科
10 : 30 ~ 11 : 40
中高科、青年・成人科
9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番
受付 : 二木榮子 持田文重
お花 : 二木榮子

昼食奉仕者ミーティング
会堂清掃後

◎今週の集会 (8 月 9 日 ~ 8 月 15 日)

<聖書> サムエル上 24 : 1 ~ 16

12 日 (水) 祈祷会 I 10 : 30
祈祷会 II 19 : 30
(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

9 日 (日) サムエル上 20 : 24 ~ 42 中村響子
10 日 (月) サムエル下 1 : 25 ~ 27 畑間節子
11 日 (火) 箴言 31 : 8 ~ 9 林田佳代子
12 日 (水) ガラテヤ 3 : 26 ~ 28 林田義勝
13 日 (木) マタイ 5 : 43 ~ 45 廣津陽子
14 日 (金) ローマ 12 : 17 ~ 21 藤岡幹隆
15 日 (土) マタイ 11 : 28 ~ 30 藤田 恒